

自然学習講座

テーマ：もっと楽しむ！水元公園のコケ観察会

日時：令和8年3月15日(日) 午前10時から12時まで(雨天決行)

講師：藤井 久子 氏

参加費：無料 定員：20人(小学4年生以上)

受付開始：令和8年2月12日(木)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和8年2月23日(月)までWeb・電話で受付。応募者より抽選。

※ 動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。

※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。

※ お持ちであれば、筆記用具、SDカード、ルーペ、水のいった霧吹きをご持参ください。



接写できるカメラを用いて身近な場所で見られるコケをじっくり観察しその生態や形態について学びます。

イベント・ガイドウォーク

フォトコンテスト作品展示

水元かわせみの里
令和8年1月15日(木)～
令和8年2月15日(日)

葛飾区立中央図書館
令和8年1月23日(金)～
令和8年2月15日(日)

葛飾区内で撮影された様々な生きものの作品を、水元かわせみの里・葛飾区立中央図書館・オンラインで展示します。葛飾区HPまたは来館者からの投票で、入選作品を決定します。



投票フォーム
葛飾区HP

ガイドウォーク

1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)

金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口

金町駅南口→水元公園→金町駅南口

(金61系統)

水元かわせみの里下車 徒歩1分

水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



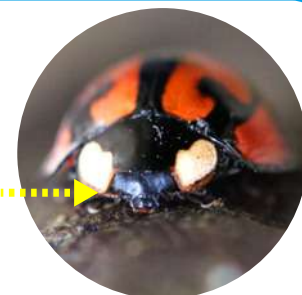
X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和8年 1月20日
(通算第226号)

頭部は白い模様のある前胸背の先にあります。



水元小合溜の生きもの:216

カメノコテントウ

コウチュウ目 テントウムシ科

体長 8.0～11.7mm

時期 5～10月(成虫越冬)

日本テントウムシ界

最大級

のテントウムシ

日本全国に生息し、

日本のテントウムシ

の間では最大級の体

長を誇ります。冬は樹皮

裏や石の下など狭い隙間に隠

れて越冬し、場所によっては集団で

固まって越冬することもあります。

水元公園で見るのは珍しい？

オニグルミを食草とするクルミハムシの幼虫などを食べているため、オニグルミの生えていない水元公園で繁殖しているかは不明ですが、越冬場所を探して近くの繁殖地から飛来するの

か、冬の水元公園でも稀に見られます。



赤い血を流す！？

いいえ、苦い汁です。



危険を感じると、前胸背の白い模様のあたりから赤い液体を出し、その苦い匂いで身を守ります。

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



1/10 パン かわせみの池の周辺で、茂みから茂みに移動する様子が見られた。体の側面の白い筋模様が特徴。



1/10 タヒバリ 水元大橋の近くで見られた。ヒバリとつくがセキレイの仲間。草地を歩き回り食べものを探していた。



1/10 ユリカモメ 水元大橋周辺の水元小合溜で群れになって飛んでいた。目の黒い模様が特徴。



1/10 ハシビロガモ くちばしが大きく平べったいカモの仲間。水面の食べものをすくって食べる様子が見られた。



1/11 クビキリギス 成虫で越冬するキリギリスの仲間。ヨシなどの大きな草の根元でじっとして冬を越す。



1/10 ゴマダラチョウ(幼虫) 幼虫で越冬するチョウの仲間。エノキの根元の葉っぱにくっつき、冬を越す。



1/10 クログネモチの実 冬になると赤い実をつける。あまり鳥に人気がなく、晩冬まで実が残っていることが多い。



1/12 トウネズミモチの実 晩秋に青い実をつける。あまり鳥に人気がなく、晩冬の頃、主にヒヨドリが食べる。



1/12 トキワサンザシの実 通称ピラカンサとも呼ばれる。赤い実は甘く鳥に人気があり、初冬には無くなることが多い。

2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「鳥にしか見えない木の実の熟度」のお話

冬の鳥たちには様々な木の実を食べて暮らす種類も多くいます。木の実の種類ごとに鳥の人気に差があり、トウネズミモチ(8)はトキワサンザシ(9)より糖度が低く、人気も低いです。そのため、例年トキワサンザシ→トウネズミモチの順で食べられますが、今年はトウネズミモチより後に食べられたトキワサンザシがありました。なぜこんなことが起きたのでしょうか?

植物は鳥に種子を運ばせるため、実を甘くしたり、目立つ色を付けて鳥にアピールします。前述の通り甘い実の方が人気が高いため、今年のトキワサンザシの実の出来が悪かったのではないかと、実を一つ食べてみましたがきちんと甘く、糖度が理由でないことがわかりました。そうすると、可能性があるのは色です。鳥は人と同じ光の三原色だけでなく、紫外線まで見ることで、大変目のいい生きものです。そして実は熟すと果皮の反射光が変化し、鳥はそれで実の熟度を判断するそうです。もしかするとこのトキワサンザシからは、人の目ではわからないほど細かく、しかし鳥には見える熟度を示すサインが、何らかの理由で出ていなかったのかもしれませんが。

人と鳥の見えている世界は、同じようできっと違います。その違いを想像すると、自然観察がまた少し楽しくなります。(野間)



ボランティア活動報告

野鳥の巣箱を設置しました！

水元かわせみの里では、毎年シジュウカラなどの小鳥も繁殖できるように巣箱を設置しています。小鳥たちが繁殖活動を始める前の12月の活動では、これまでかけていた巣箱を修繕し、カワセミ営巣壁の近くや野草園、パーゴラ付近など、複数の巣箱を敷地内に設置しました。



巣箱の中身の掃除、フタの修理など、今年も一年かけられるようしっかり直しました。



高所作業は大変でしたが、全員で補助しあってなんとか設置完了！



施設内や野草園路から、のぞき込めば見られる位置に設置しています。来春を心待ちに、小鳥たちの動向を見守っていただきたいと思います。



ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫のキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 1月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

1月の見頃

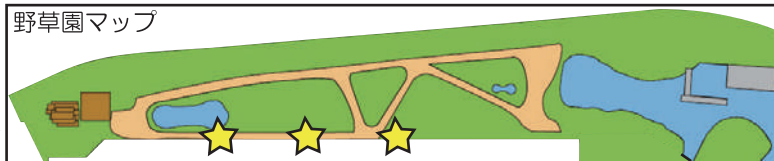
ジャノヒゲ

街路樹の下などに植えられることも多く、12月～1月頃、葉をかき分けてみると見つかるコバルトブルーの果実は、冬鳥の食料にもなります。

名前は長い葉に由来し、想像上の蛇(じゃ)の髭のようだからと言われます。龍(りゅう)のヒゲにも似ることから「リュウノヒゲ」という別名もあります。



野草園マップ



見られる
ポイントは
ココ！